

# 2007年度 決算説明会

2008年5月16日  
日本新薬株式会社

# 2007年度業績と 2008年度業績見通し

2008年5月16日

日本新薬株式会社  
執行役員経営企画部長  
福島和夫



# 業績の状況 (連結)

(百万円)

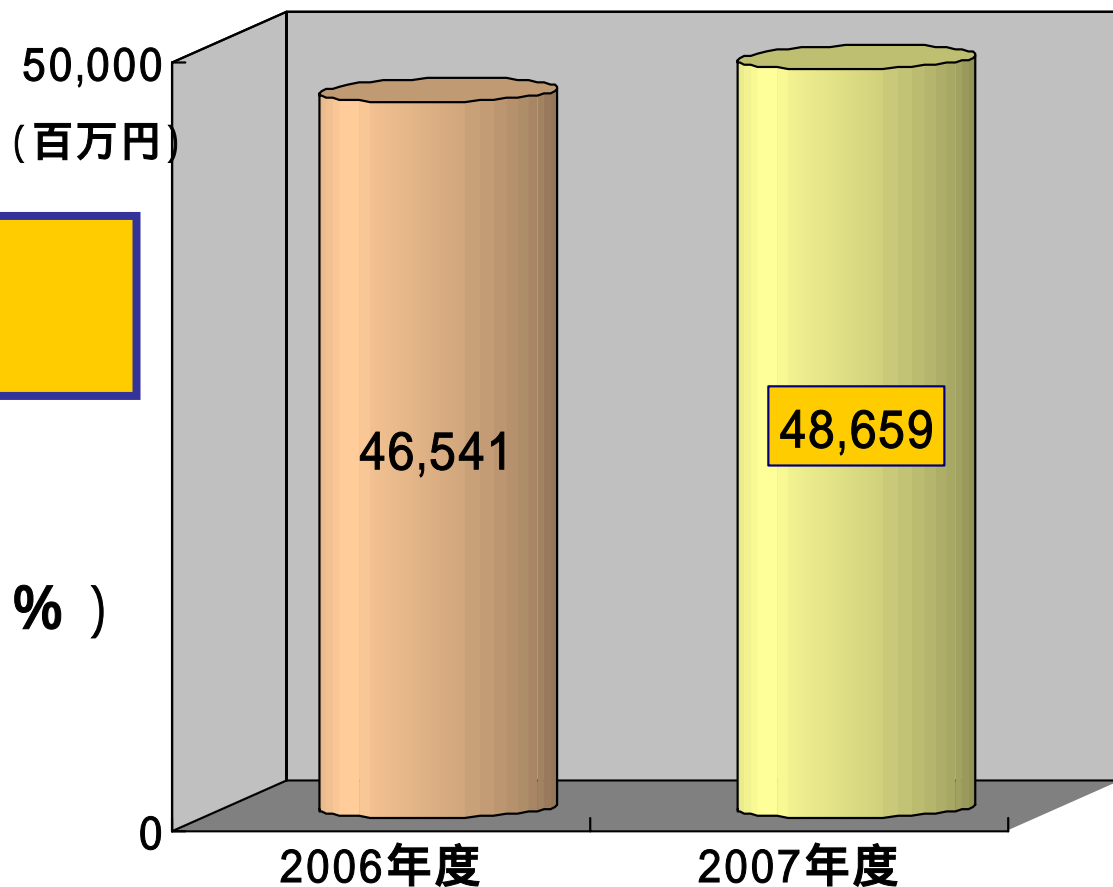
	2006年度		2007年度			
	実績		実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	56,320	100.0%	59,450	100.0%	3,130	5.6%
営業利益	5,220	9.3%	6,461	10.9%	1,241	23.8%
経常利益	5,290	9.4%	6,860	11.5%	1,570	29.7%
当期純利益	2,899	5.1%	4,030	6.8%	1,131	39.0%

# 部門別業績推移 医薬品

実績 48,659百万円

対前年同期比

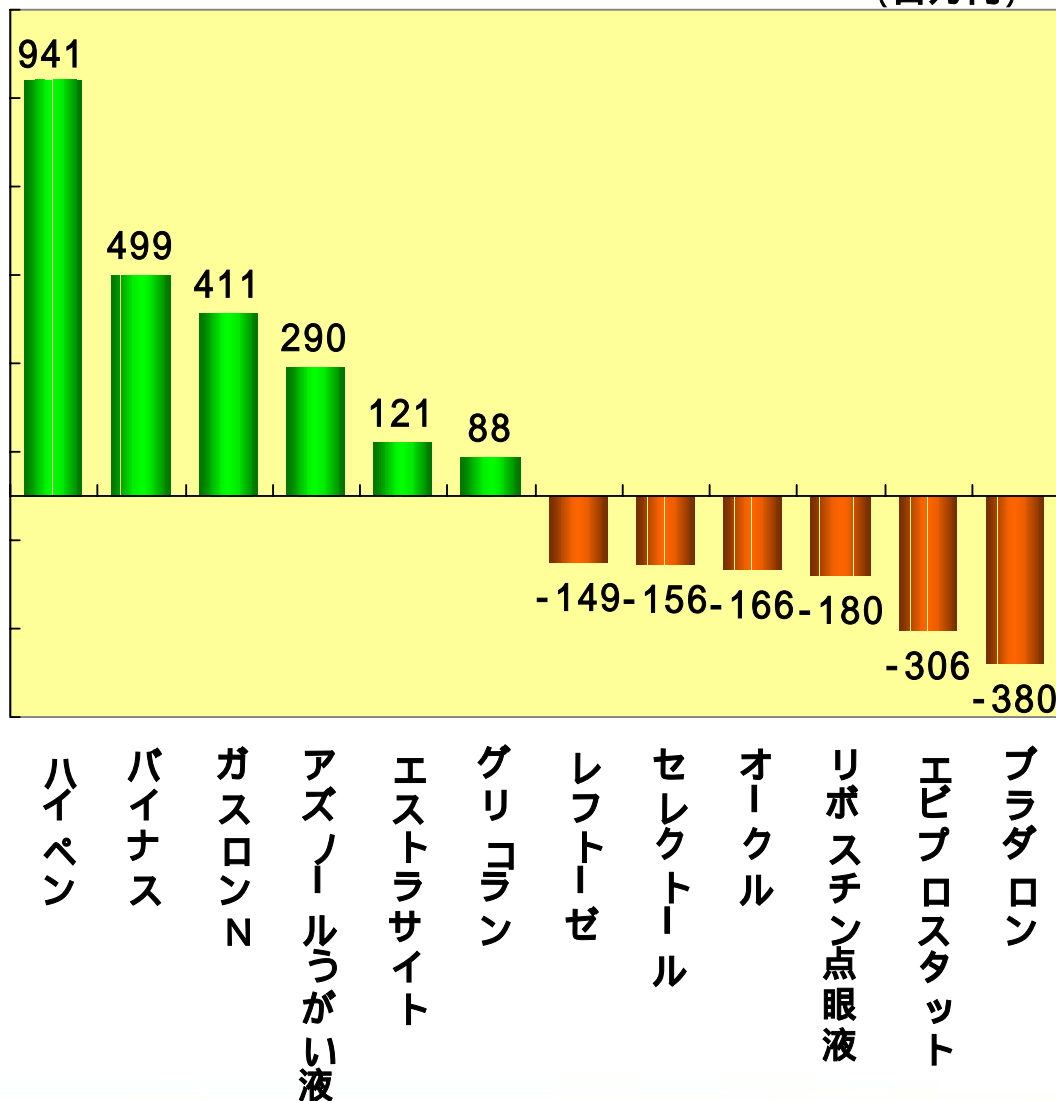
+ 2,118百万円( + 4.6% )





# 主力品目 売上高増減

(百万円)



- ・ハイペン( 17.5% up )  
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)
- ・バイナス( 29.2% up )  
(アレルギー性鼻炎治療剤)
- ・ガスロンN( 11.3% up )  
(粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤)

等の伸長

- ・ブラダロン( 9.9% down )  
(頻尿治療剤)
- ・エビプロスタット( 5.2% down )  
(前立腺肥大症治療剤)
- ・リボスチン点眼液( 13.1% down )  
(抗アレルギー点眼液)

等の減少



# 医薬品売上の内訳

(百万円)

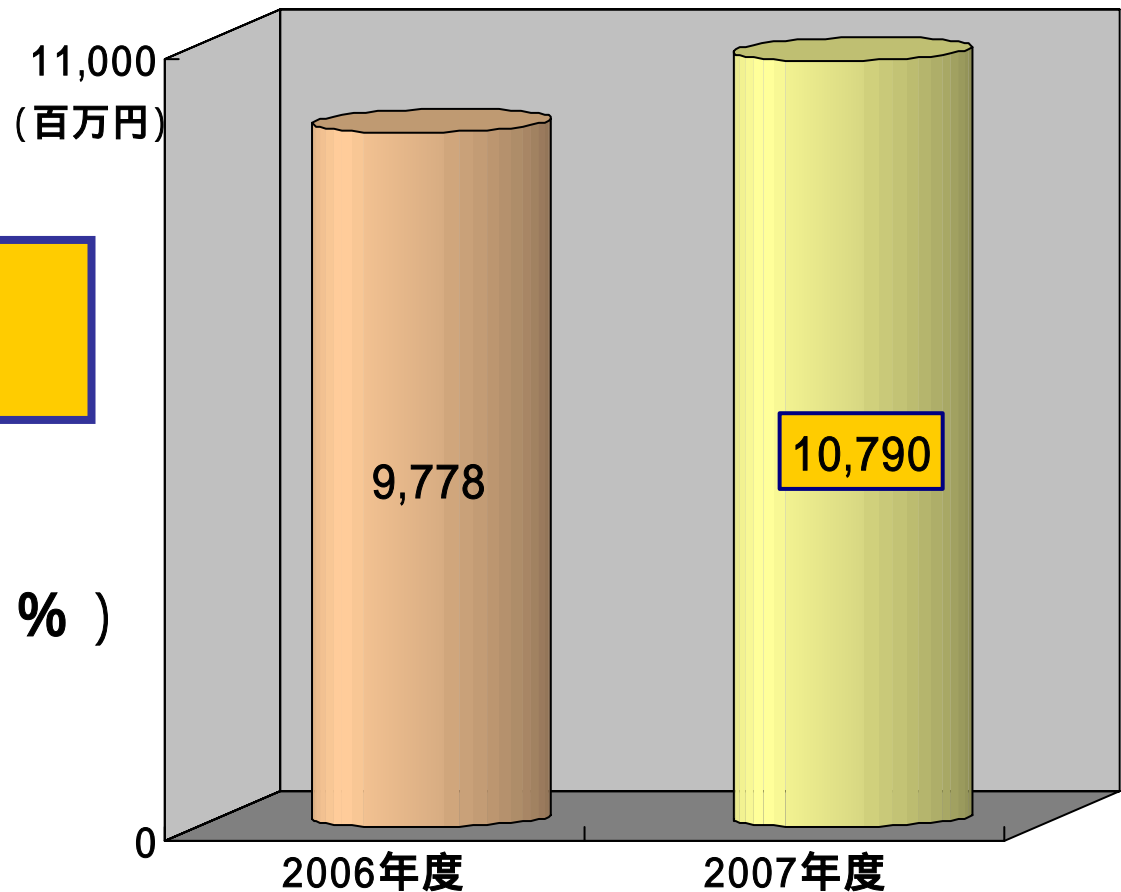
	2006年度		2007年度			
	実績		実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	44,339	95.3%	45,361	93.2%	1,022	2.3%
工業所有権等収益	856	1.8%	1,683	3.5%	827	96.6%
フルリフロキサシソ原薬	1,201	2.6%	1,422	2.9%	221	18.4%
受託製造	145	0.3%	193	0.4%	48	33.1%
医薬品合計	46,541	100.0%	48,659	100.0%	2,118	4.6%

# 部門別業績推移 機能食品

実績 10,790百万円

対前年同期比

+ 1,012百万円( + 10.3% )





# 機能食品売上の内訳

(百万円)

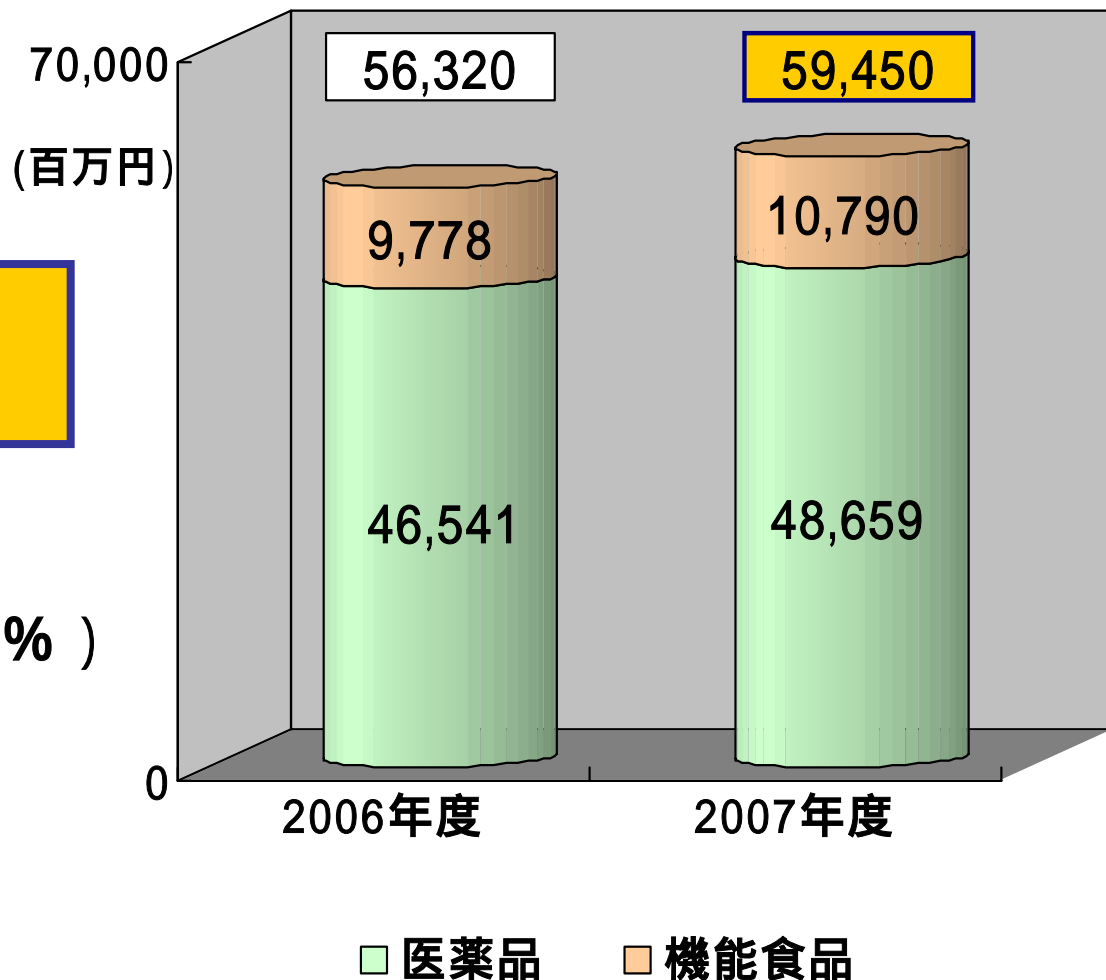
	2006年度		2007年度			
	実績		実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
健康食品素材	852	8.7%	627	5.8%	225	26.4%
品質安定保存剤	1,489	15.2%	1,481	13.7%	8	0.5%
たん白製剤	5,954	60.9%	7,006	64.9%	1,052	17.7%
ニュートリション素材	-	-	122	1.1%	122	-
その他	1,483	15.2%	1,554	14.5%	71	4.8%
機能食品合計	9,778	100.0%	10,790	100.0%	1,012	10.3%

# 業績推移 (連結) 売上高

**実績 59,450 百万円**

対前年同期比

+ 3,130 百万円 ( + 5.6 % )





# 損益計算書 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	実績		実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
<b>営業収益</b>						
売上高	56,320	100.0%	59,450	100.0%	3,130	5.6%
(医薬品)	(46,541)	(82.6%)	(48,659)	(81.8%)	(2,118)	(4.6%)
(機能食品)	(9,778)	(17.4%)	(10,790)	(18.1%)	(1,012)	(10.3%)
<b>営業費用</b>	51,100	90.7%	52,988	89.1%	1,888	3.7%
売上原価	25,115	44.6%	27,365	46.0%	2,250	
返品調整引当金繰入額	1	0.0%	11	0.0%	12	
販売費及び一般管理費	17,785	31.6%	17,712	29.8%	73	
研究開発費	8,200	14.5%	7,898	13.3%	302	
<b>営業利益</b>	5,220	9.3%	6,461	10.9%	1,241	23.8%

営業利益：売上高の増加、研究開発費の減少等により増益



# 損益計算書 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	実績		実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	5,220	9.3%	6,461	10.9%	1,241	23.8%
営業外収益	986	1.7%	1,295	2.2%	309	31.2%
営業外費用	917	1.6%	896	1.5%	21	2.3%
経常利益	5,290	9.4%	6,860	11.5%	1,570	29.7%
特別利益	-	-	18	0.0%	18	-
当期純利益	2,899	5.1%	4,030	6.8%	1,131	39.0%

経常利益・当期純利益 : 営業利益、営業外収益の増加により増益



# 配 当

		2006年度	2007年度
普通株式1株当たり配当金	中間配当金	6 円	7 円
	期末配当金	6 円	9 円
	年間配当金	12 円	16 円
1株当たり純利益 (EPS)		42.73 円	59.57 円
配当性向		28.1 %	26.9 %
純資産配当率 (DOE)		1.1 %	1.4 %

# 財政状況 (連結)

(百万円)

	2006年度	2007年度			2006年度	2007年度	
	期末実績	期末実績	増減		期末実績	期末実績	増減
資産の部	104,872	103,115	1,757	負債の部	28,659	26,164	2,495
(流動資産)	51,849	56,281	4,432	(流動負債)	14,129	15,071	942
(固定資産)	53,023	46,834	6,189	(固定負債)	14,530	11,093	3,437
				純資産の部	76,213	76,951	738
合計	104,872	103,115	1,757	合計	104,872	103,115	1,757



# キャッシュ・フローの状況 (連結)

(百万円)

	2006年度	2007年度	
	実績	実績	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	4,200	7,346	3,146
投資活動による キャッシュ・フロー	4,259	1,070	3,189
財務活動による キャッシュ・フロー	2,448	2,149	299
現金及び同等物の 期末残高	11,312	15,153	3,841

現金及び同等物の期末残高 : 売上債権の減少などにより増加



# 設備投資の状況 (連結)

## 設備投資及び減価償却費

(百万円)

	実績		
	2006年度	2007年度	増減
設備投資額	1,408	1,650	242
減価償却費	2,750	2,847	97

## 設備投資内訳

(百万円)

	実績		
	2006年度	2007年度	増減
<日本新薬>	1,339	1,430	91
生産関連	585	783	198
研究開発関連	256	350	94
一般関連	498	297	201
<シオエ製薬>	59	14	45
<タジマ食品>	10	205	195
<NS Pharma>	-	1	1
設備投資計	1,408	1,650	242



# 通期業績予想 (連結)

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	59,450	100.0%	62,200	100.0%	2,750	4.6%
営業利益	6,461	10.9%	6,700	10.8%	239	3.7%
経常利益	6,860	11.5%	7,100	11.4%	240	3.5%
当期純利益	4,030	6.8%	4,300	6.9%	270	6.7%

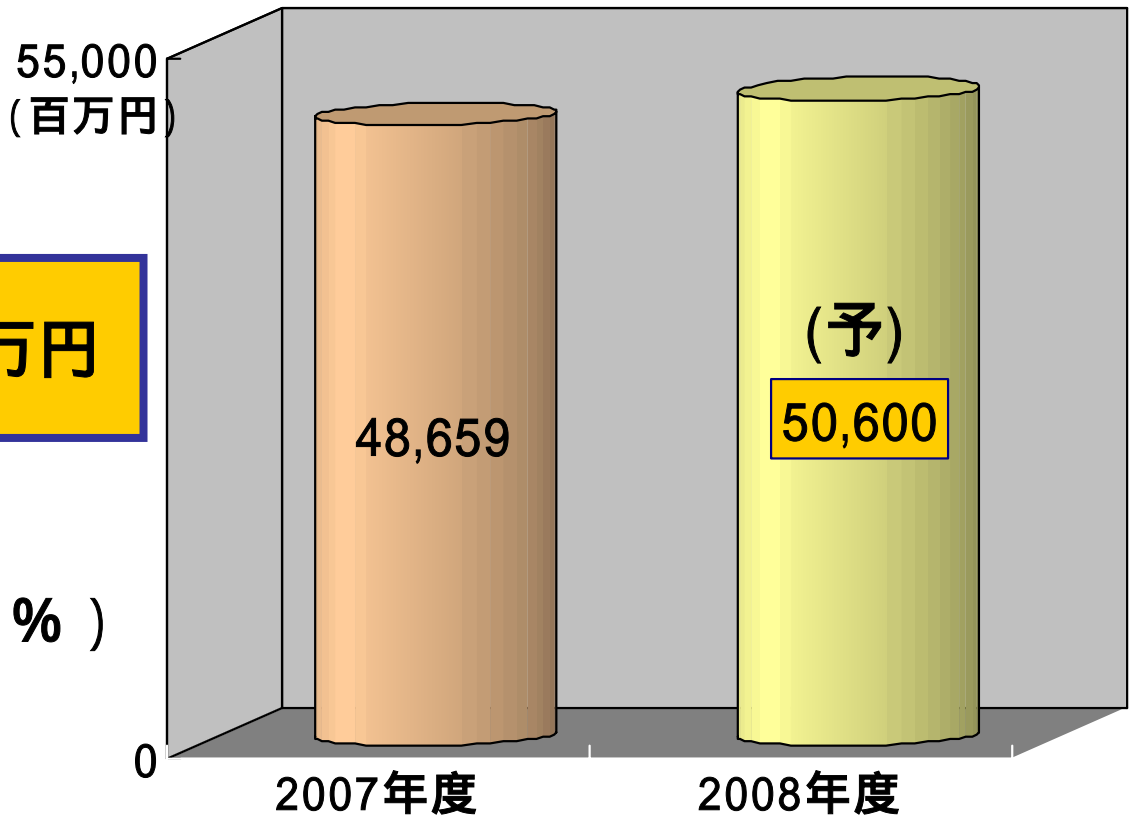


# 事業別業績見通し 医薬品

**2008年度 50,600百万円**

対前年度比

+ 1,941百万円 (+ 4.0%)





# 医薬品売上予想の内訳

(百万円)

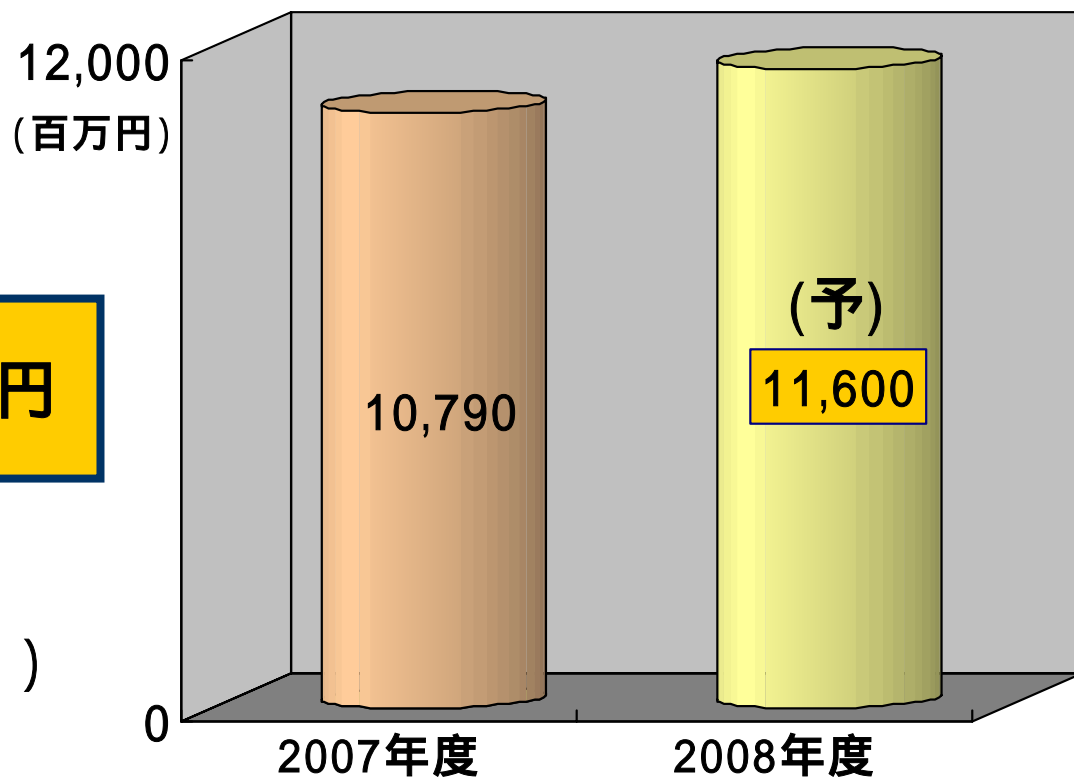
	2007年度		2008年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	45,361	93.2%	46,050	91.0%	689	1.5%
工業所有権等収益	1,683	3.5%	3,100	6.1%	1,417	84.2%
フルリフロキサソン原薬	1,422	2.9%	1,000	2.0%	422	29.7%
受託製造	193	0.4%	450	0.9%	257	133.2%
医薬品合計	48,659	100.0%	50,600	100.0%	1,941	4.0%

# 事業別業績見通し 機能食品

2008年度 11,600百万円

対前年度比

+ 810百万円( + 7.5% )





# 機能食品売上予想の内訳

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
健康食品素材	627	5.8%	700	6.0%	73	11.6%
品質安定保存剤	1,481	13.7%	1,600	13.8%	119	8.0%
たん白製剤	7,006	64.9%	5,900	50.9%	1,106	15.8%
ニュートリション素材	122	1.1%	1,800	15.5%	1,678	1375.4%
その他	1,554	14.5%	1,600	13.8%	46	3.0%
機能食品合計	10,790	100.0%	11,600	100.0%	810	7.5%

# 予想損益計算書(連結)

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
<b>営業収益</b>						
売上高	59,450	100.0%	62,200	100.0%	2,750	4.6%
(医薬品)	(48,659)	(81.8%)	(50,600)	(81.4%)	(1,941)	(4.0%)
(機能食品)	(10,790)	(18.1%)	(11,600)	(18.6%)	(810)	(7.5%)
<b>営業費用</b>	52,988	89.1%	55,500	89.2%	2,512	4.7%
売上原価	27,365	46.0%	28,600	46.0%	1,235	
返品調整引当金繰入額	11	0.0%	-	-	11	
販売費及び一般管理費	17,712	29.8%	18,600	29.9%	888	
研究開発費	7,898	13.3%	8,300	13.3%	402	
<b>営業利益</b>	6,461	10.9%	6,700	10.8%	239	3.7%

売上原価率 : 対前年度比 横ばい

販管費 : 対前年度比 + 888 百万円

研究開発費 : 対前年度比 + 402 百万円



# 予想損益計算書(連結)

(百万円)

	2007年度		2008年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	6,461	10.9%	6,700	10.8%	239	3.7%
営業外収益	1,295	2.2%	900	1.4%	395	30.5%
営業外費用	896	1.5%	500	0.8%	396	44.2%
経常利益	6,860	11.5%	7,100	11.4%	240	3.5%
特別利益	18	0.0%	-	-	18	-
当期純利益	4,030	6.8%	4,300	6.9%	270	6.7%



# 配当予想

		2007年度	2008年度
普通株式1株当たり配当金	中間配当金	7 円	9 円
	期末配当金	9 円	9 円
	年間配当金	16 円	18 円
1株当たり純利益 (EPS)		59.57 円	63.57 円
配当性向		26.9 %	28.3 %



# 設備投資の計画 (連結)

## 設備投資及び減価償却費

(百万円)

	2007年度 実績	2008年度 予想	増減
設備投資額	1,650	2,000	350
減価償却費	2,847	3,000	153

## 設備投資内訳

(百万円)

	2007年度 実績	2008年度 予想	増減
< 日本新薬 >	1,430	1,400	30
生産関連	783	500	283
研究開発関連	350	600	250
一般関連	297	300	3
< シオエ製薬 >	14	200	186
< タジマ食品 >	205	400	195
< NS Pharma >	1	-	1
設備投資計	1,650	2,000	350

# 研究開発品目の進捗状況

2008年5月16日  
日本新薬株式会社  
取締役研究開発本部長  
矢野純一



# 新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等		開発段階	2006	2007	2008	2009年度
NS - 126 (導入)	新成分	吸入 ステロイド 剤	鼻 炎	申請中	→ 申請			承認予定
			喘 息	P	→			
NS - 315 (塩酸トラマドール) (導入)	新投与経路	癌性疼痛 (非麻薬性鎮痛剤)		申請 準備中	→		申請予定	
NS - 11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P	→		P 予定	→
NS - 17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髄異形成症候群		P			P 予定	→
NS - 304 (自社)	新成分	肺高血圧症		P		→	P 予定	→

# 新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症	開発段階	2006	2007	2008	2009年度
NM441 (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売準備 中	柳韓洋行社 →申請	承認 ●		
			US P	Optimer社 →			申請予定
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	EU P			Actelion社 →	
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU P	Innovive社 →		P 予定	→



# NS-126

## - 吸入ステロイド剤 -

- 開発段階** : 鼻炎: 2006/12 申請  
喘息: P a試験 終了
- 開発形態** : 自社
- 成分名** : 新規合成副腎皮質ステロイド
- 適応症** : アレルギー性鼻炎、気管支喘息
- 特徴** : 粉末製剤  
1日1回経鼻噴霧



# NS - 315 (塩酸トラマドール)

- 非麻薬性鎮痛剤 -

グリェンタール社(独)から導入(世界の約100カ国で発売済み)

開発段階 : 癌性疼痛 : P 試験終了  
申請準備中

開発形態 : 自社

用法 : 3 ~ 4回 / 日

特徴 : 中等度鎮痛剤

NSAIDs < トラマドール < モルヒネ



# NS-11 (アカンプロセート)

## - アルコール依存症治療剤 -

**開発段階:** P 試験

**開発会社:** メルクセローノ社(スイス)より導入: 2003/05  
欧州30ヵ国で発売済み(1989~)  
米国 2005/01 発売(Forest社)

**適応症:** アルコール依存症

**成分:** アカンプロセート

**剤型:** 腸溶錠

**特徴:** NMDA (N-メチル-D-アスパラギン酸) 受容体との特異的相互作用により、アルコールの離脱症状を軽減し、自発的飲酒を抑制する禁酒維持療法



# NS - 17 (アザシチジン)

## - 骨髄異形成症候群治療剤 -

**開発段階:** P 試験 2007/10 ~

**開発会社:** ファーミオン社(米)より導入 : 2006/11  
米国 2004/07 発売

**適応症:** 骨髄異形成症候群(MDS)

**成分:** アザシチジン

**剤型:** 凍結乾燥粉末/バイアル  
(用時溶解、皮下・静脈内注射)

**特徴:**

- ・ DNA脱メチル化作用による正常な細胞分化誘導
- ・ Low ~ High Risk MDS に有効
- ・ MDS治療の第一選択薬(米国)

# NS - 304

## - 肺高血圧症治療剤 -

**開発段階:** 欧州 (EMEA) オーフアン指定: 2005/08

P 試験 (欧州) 2007/11 ~

P 試験 (国内) 2007/09 ~

**開発形態:** 2008/04 アクテリオン社 (スイス) へ  
導出 (日本を除く全世界)

国内はアクテリオン社と共同開発・販売

**適 応 症:** 肺高血圧症

**作用機序:** 選択的 PGI<sub>2</sub> アゴニスト

**剤 型:** 錠剤

**特 徴:** 長時間作用型経口剤



# NM441 (プルリフロキサシン)

## - キノロン系合成抗菌剤 -

**開発段階** : 国内 : 発売 (明治製菓 / スオード錠) : 2002/12

海外 : アンジェリーニ社 (伊)

販売承認 : 2004/09

発売 (伊) : 2004/11

(ポルトガル) : 2007/01

(キリシャ) : 2007/10

欧州各国承認 : 2005/04

柳韓洋行社 (韓)

契約 : 2003/02

承認申請 : 2006/07

承認 : 2007/12

オプティマー社 (米)

契約 : 2004/06

P 試験 : 2006/05 ~



- 開発段階** : イノバイブ社(米)へ導出 : 2005/12  
P 試験(欧米) : 2006/07 ~  
**P 試験準備中**
- 適応症** : 慢性骨髄性白血病
- 作用機序** : Bcr-ablチロシンキナーゼおよび  
Lynチロシンキナーゼ阻害
- 特徴** : グリベック耐性変異体にも効果

## 将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、マネージドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。